



上島町

# 議会だより

令和8年

6月号

Vol.83

上島町産業シリーズ⑥ 「定置網の操業」  
上島町の海では写真の定置網漁のほか、刺し網漁、蛸壺漁、海苔養殖  
などが行われています。

## 主な内容

- ・ P 2 臨時議会
- ・ P 3～4 全員協議会
- ・ P 5 3月定例会
- ・ P 6～13 一般質問
- ・ P14～16 予算決算委員会
- ・ P17～18 定例会議案審議結果
- ・ P18～19 議案審議結果

# 令和8年第1回 臨時議会

日時：令和8年1月29日

場所：弓削総合庁舎3階議場

出席議員：12名（全員出席）

この臨時議会ではインランド・シー・リゾートフェスパの運営者交代に伴う規定整備や、国の物価高騰対策臨時交付金に係る新規事業の予算計上を中心に審議が行われました。

## 議案審議

□専決処分の承認を求めること  
について（令和7年度上島町一  
般会計補正予算（第4号））

衆議院総選挙、最高裁判所裁  
判官国民審査（2月8日執行）  
について1月20日に専決処分し  
たものです。

財源は、国庫支出金（衆議院  
議員選挙委託金）1000万円、  
財政調整基金繰入金300万円。

〓承認〓

□インランド・シー・リゾート  
フェスパ条例の一部を改正する  
条例

指定管理者の管理期間の特例  
について規定整備の必要が生じ  
たものです。

休業中のフェスパについて令  
和7年度残存期間を、次の指定  
管理者が管理運営できる規定に  
整備されました。

〓原案可決〓

□令和7年度上島町一般会計補  
正予算（第5号）

国庫補助金（物価高騰  
対応地方創生臨時交付金）  
1億4996万6千円と町の財  
政調整基金1200万円により  
新規事業を行うものです。

〈主な事業内容〉

○生活応援商品券事業

1億821万2千円

○農林水産業者物価高騰対策支  
援事業

2700万円

○物価高対応子育て応援手当支  
給事業

1190万円

○子育て世帯生活応援給付金事  
業

1034万2千円

○フェスパ バルコニータイル  
改修工事

360万円

〓原案可決〓

□町有財産の無償貸付について

岩城診療所開設に伴い、診療  
所及び医師住宅建物と診療所部  
分土地を契約日より10年、無償  
貸付するものです。

○貸付相手方 社会医療法人心

海会理事長 次田展之

〓原案可決〓

□インランド・シー・リゾート  
フェスパの指定期間の変更につ  
いて

指定期間（開始）を令和8年  
4月1日から令和8年2月15日  
に変更したものです。

〓原案可決〓



町長、議長、議員出席のもと3月30日に行われた（株）  
エムアンドエムと上島町の合同記者発表会

（本田志摩）

# 令和8年第2回 全員協議会

日時：令和8年2月26日  
場所：弓削総合庁舎3階議場  
出席議員：11名（欠席1名）

上下水道、介護サービス、公営船舶などの企業会計についての経営戦略改定やデマンド交通の対象エリア拡大などが報告されたほか、事業化が模索されている海辺の賑わい空間構想、先田名後一般廃棄物処理場の容量超過の件などが協議されました。

## 報告事項

### ●企業会計経営戦略の改定

6つの企業会計事業の経営戦略を改定。主な内容は以下の通り。

#### ①上水道事業

収入減・支出増の見通しを踏まえ、随時料金改定の必要性を検討していく方針。

#### ②下水道事業

現行使用料が愛媛県平均より安く国の補助採択基準を下回っており、人口減少による収入減と維持管理費増加の見通しから、令和9年度からの料金改定が必要と判断。

#### ③簡易水道事業

魚島・高井神の施設統合が離島ゆえに困難で給水原価が高く、一般会計繰入金への依存が続く見込み。令和6年度から公営企業会計へ移行。

#### ④介護サービス事業

海光園・老人短期入所は令和12年度に大口債務の償還が終了し収支改善見込み。魚島デイサービスは人件費増が続き、繰

入金依存の構造が継続。

#### ⑤魚島船舶事業

補助金・繰入金依存の経営が続き、料金値上げは困難と判断。令和9年度に新船竣工予定。

#### ⑥生名船舶事業

燃料費・修繕費高騰等で実質単年度収支が赤字。令和9年度から10%の料金改定を想定した試算を実施。

### 議員からの主な意見

・生名船舶の料金値上げへの不満の声があるので、値上げしないように努めてもらいたい。  
・高井神漫画事業による魚島航路の利用者増があるが、今後高井神をプッシュしていく考えはあるか。

### ●芸予汽船（株）決算報告

令和7年の乗船者数は6万1204人で前期と比較して2万4058人減。令和6年4月の7便から4便への減便が主因で定期利用者が陸路に転換している模様。運賃収入は5341万円（前期比

1056万円減）。経常損益は1億5611万円の赤字で、前期より1463万円改善。令和8年度予算には2市1町の負担金として4900万円を計上。

### ●上島町新型インフルエンザ等対策行動計画の概要

平成27年策定の計画を、新型コロナウイルスの経験と国・県の改正を踏まえ改定。発生時期の分類を6段階から「準備期・初動期・対応期」の3期に簡素化。対策項目は国の13項目のうち離島特有対策を加えた8項目を整理。海上交通の緊急輸送体制・島嶼部間の医療連携・要配慮者支援などを盛り込んだ。

### ●デマンド交通の運行範囲拡大

令和7年8月～8年1月の半年間の稼働率は全体34%で余裕がある状況。今後の方針として、  
①運行範囲を拡大、②狩尾・大谷・佐島と下弓削間の弓削支線および平日の生名支線を廃止、  
③デマンドバスを2台から3台

に増車（既存ハイエース活用）、  
④令和8年6月からの変更運行  
を目標とする。通勤通学時間帯  
は引き続き幹線バスを運行。

### ●フェスバの再開スケジュール

2月15日～28日に運営管理を  
開始、3月1日から宿泊・日帰  
り入浴のプレオープン、3月7  
日から日帰り食事を開始。4月  
1日から通常営業予定。日帰り  
入浴は大人800円（補助適用  
で400円）。プレオープン中  
は入浴部門以外は予約制。詳細  
料金は調整中。

## 協議事項

### 3月定例会提出予定議案の概要

#### ●海水温浴施設「潮湯」条例廃止

3月31日をもって営業停止。  
回数券の返金方法は未定だが早  
急に対応を検討中。利用者説明  
会（2月12日、約23人参加）で  
は代替施設への周知を実施。代  
替施設（スポレクへのジャグ

ジー設置等）の整備を検討中。  
乳児等通園支援事業関連条例

「子ども誰でも通園制度」に  
対応し、弓削・岩城の2保育所  
で受け入れ準備。利用料は1時  
間300円、月10時間まで。年  
度途中からの利用登録も可能。

#### スポーツ合宿村公園条例改正

物価高騰を受け蛙石荘の宿  
泊料を約10%値上げ。大人  
4890円↓5400円など。

#### ●補正予算（令和7年度）

一般会計を2億5100万円  
減額し総額75億2500万円。  
先田名後処分場の安定解析業務  
に係る予算流用の是非について  
議員が指摘。緊急性から流用対  
応したが「事前に議会へ説明す  
べきだった」と副町長が認めた。

#### ●当初予算（令和8年度）

一般会計68億6000万円  
（前年比7.9%減）。主要事  
業として弓削小学校屋内運動  
場空調整備7000万円、水  
産物供給基盤機能保全事業  
1億5950万円など。

#### ●魚島新船建造工事請負契約

ツネインクラフト&ファシリ  
ティーズ(株)と5億5000万円  
で随意契約。総トン数56トン・  
旅客定員82名・バリアフリー対  
応。令和9年度完成予定。

#### 水辺の賑わい空間（ヨット等係留施設整備構想）

弓削海の駅を拡充し、30m級  
大型船を受け入れ可能な係留施  
設を整備する構想。令和6年度  
の施設利用料実績は約70万円・  
利用者882人。整備後は利用  
隻数600隻・利用者2000  
人・観光消費額約680万円を  
見込む。財源は地方創生交付金  
の活用を想定。

#### 議員からの主な意見

・事業費が財政の足かせになら  
ないか。

・採算性の見込みが薄く、町に  
どのような実りがあるのか評価  
しづらい。

・民間活用（PPP・PFI）  
を先に検討すべきでは。

・撤去費用を含めたライフサイ  
クルコストの試算が必要。

#### 先田名後一般廃棄物最終処分場 容量超過の搬出処分計画（案）

約9000立米容量超過した  
廃棄物を年間約900立米、10  
年間（令和8～17年度）かけて  
搬出・町外処分する基本方針。  
事業費総額は約4億7000万  
円。令和7年度中に安定解析・  
モニタリング体制を整備したの  
ち搬出開始、令和19年度に廃止  
届提出予定。

処分先は県内で概ね調整済み  
だが、改善基本計画書が未確定  
のため詳細は未公表。

平成26年12月に容量超過が判  
明していたにもかかわらず搬入  
が継続されていた経緯について  
は、原因究明を進めていると町  
長が説明。

#### 議員からの主な意見

・搬出期間が10年間では長すぎ  
ないか。3年程度にならないか。

・分別・リサイクルの検討は。  
・土、コンクリート、ガラス等  
で比重が大きく違う。過積載防  
止のために計量管理を。

（宮畑周平）

令和8年度の一般会計予算をはじめ、重要な予算審議が行われました。各予算についてはいずれも原案通り可決しています。一般質問では8名の議員が登壇しました。議会終了日には3件の請願が提出されました。

## 【一般質問】

——藤田 徹也 議員——

①家老渡上弓削航路の廃止に伴う町の対応について

——徳岡 誠 議員——

①デマンド交通の全地区利用開始と要望について

——上村 建太 議員——

①生名公営渡船の利便性向上について

——宮畑 周平 議員——

①本町の公共交通、特に航路ネットワークの長期的ビジョンと維持戦略について

——尾藤 俊輔 議員——

①避難所運営における多様な配慮と支援体制の整備について

## 【議案審議、請願採択】

潮湯の廃止条例や一般会計予算、魚島船舶会計予算については議員の判断が分かれました。また議案審議後に3件の請願が審議されました。討論ののちに2件の請願が不採択となり、1件が採択されています。審議内容についてはp.18～19をご参照ください。

# 令和8年 3月定例会

日程：令和8年3月4日～12日  
場所：弓削総合庁舎3階議場

——濱田 高嘉 議員——

①先の12月議会でも質問致しました上島町小中学校の統廃合・適正配置等に関して、双方が納得する質疑応答に至らず、改めて質問致します。

——本田 志摩 議員——

①創設より10年あまり経過した『総合教育会議』の連携協議内容と今後の展望について

——濱田 和保 議員——

①岩城 先田名後最終処分場の今後について  
②家老渡フェリーの今後について

※次ページ以降の一般質問原稿は議事録をもとに質問者自身が要約したもので、広報委員会では原文を尊重し大きく編集を加えていません。議事録は町ホームページに全文が掲載されています。





藤田 徹也 議員

## 家老渡く上弓削航路 廃止に伴う町の対応 について

【藤田】令和8年2月5日に家老渡フェリー汽船から家老渡・上弓削航路を廃止することを決めた報告があり、船の老朽化、船員不足、生名橋の影響によるものでした。

上島町の日常生活に大きな影響を与えることは言うまでもありません。特に上弓削区、引野、明神地区において生活インフラの崩壊ともいえる家老渡・上弓削航路が廃止となった場合、町はどう対応される考えですか。

【町長】仮に家老渡・上弓削航路が廃止と仮定した場合、生名フェリーにおいて混雑しないよう折り返し運航で対応し、利用状況を踏まえたうえで必要に応じてダイヤ改正を行い、上弓削区、引野、明神地区からも乗り換えなしで立石港まで行ける手段を検討中です。家老渡汽船の継続を願っているが、実現できる対応策があれば検討していきます。

【藤田】家老渡・上弓削航路は弓削地区にとってなくてはならない、生活に欠かせない道です。家老渡汽船の上弓削漁港乗降の旅客、車両の運航実績は令

和6年度、旅客23万人、月平均約2万人、1日平均約6500人、車両10万台、月平均約8500台、1日平均約2800台でした。また令和7年度4月から12月までの実績は、旅客で19万3千人、月平均約2万2000人、1日平均では約7000人です。また、車両は8万4000台、月平均で約9300台、1日平均は約3000台となっています。

家老渡・上弓削航路が廃止になれば、これだけの人、車両が生名フェリーを利用すると予測され、車両の混雑による積み残し、公道へのはみだし駐車、料金の未回収等さまざまな問題が日常的に発生するのではないのでしょうか。特に因島側の公道へのはみだし駐車が頻繁に起こるとしたら対策の余地はあるのでしょうか。

【町長】この航路のはみだし等々の問題に関しては、その都度しっかりと対応していきます。

【藤田】家老渡・上弓削航路が廃止になれば起こりうるさまざまな問題を、町が人と経費をかけて解決しなくてはいけないこととなります。この町で生活していく上において、すべてを町内で完結できない状況下にあることは言うまでもなく、待ったなしの優先課題。町は家老渡・上弓削航路の存続を後押しするのか、町が運営に乗り出すのか、生名フェリーの利用に人と経費をかけるのか、これらと違う施策を考えているのか、方向性を明確に示してください。

【町長】方向性を明確に示すことは残念ながらできません。上島町がやめてくれと言ったわけでもなく、何もしないといったわけでもありません。大事なことは事業主さんのお考えであるかと思えます。



徳岡 誠 議員

## デマンド交通の全地区利用開始と要望について

【徳岡】 本日は「デマンド交通について」3つの質問、要望をさせていただきます。

①デマンド交通の全地区利用開始について。

②小中学生や弓削高生、商船学生に対する「学割」の適用について。

③土日や夜間運行について。

【町長】 デマンドバスは、令和8年6月からの変更運行を目標として、魚島・高井神地区を除く上島町全域をデマンド化する

方向で進めてまいります。

これは、6ヶ月の実績を分析した結果、稼働率に余裕があり、他の地区への運行範囲の拡大が可能なこと、定期バスの利用頻度が低く、拡大により運行範囲が重複する狩尾・大谷・佐島と下弓削間の弓削支線、平日の生名支線を廃止すること、また運行車両を3台に増車しますが、職員であるバス運転手に担当させることで、経費総額が増加しない方法が可能であるという判断からです。

上島町を一つのエリアとして運営する計画により4島全域が乗継なしで移動することができるようになりますので、住民行

動の自由度が上がり、買い物・医療・福祉サービス等へのアクセスが、より向上することが期待されます。

3月の公共交通会議の後、運輸局に申請、住民説明等を行います。

もちろん、通勤通学の時間帯は今まで通り、幹線バスで対応しますが、それ以外の幹線バスは、6月からの運行状況を精査し、縮小を検討します。

【公営事業課長】 「学生割引」については、町有バスよりも利便性が高い公共交通サービスであることから適応していませんが、実質300円で乗車可能となる30枚綴りの町有バス回数券や、1ヶ月乗り放題の2000円の定期券を利用して頂くことでより安くデマンドバスを活用していただきたいと考えています。

土曜日の運行については、利用状況や利用者のニーズを把握し、運行コストを考慮しつつ段階的に検討を行いたいと考えています。

夜の運行については、デマンド交通の主な利用目的を、「買い物」と「通院」と考えているため、現在の運行時刻に設定しております。御理解ください。

【徳岡】 既存職員の雇用をしっかりと守ったうえで既存バス、デマンド交通の再考をお願いします。私の一般質問を終わります。ありがとうございました。



デマンド交通の車両



上村 建太 議員

## 生名公営渡船の利便性向上に向けて

【上村】上島町で最も利用されている生名公営渡船では、通勤時間帯や繁忙期などには積み残しが生じており、ピストン運航で対応していただいています。今後の利用増を考えると利便性向上と業務の効率化が課題となっております。

町民の多くは回数券を使いスムーズな乗り降りをしています。観光客や帰省客等、島外利用者はわざわざ車から降りて切符を購入する必要があり、待機レーンが塞がることもあります。

また、島外利用者や若年層からはキャッシュレス決済への対応を望む声が寄せられています。利用者の利便性向上、料金の徴収の効率化、現金管理コストの削減といった観点から今後、キャッシュレス決済の導入について具体的な検討を進めるお考えはあるのか、町の見解をお聞かせください。

【町長】生名船舶事業におけるキャッシュレス決済導入については、検討をしておりますが、決済手数料が2・75〜4・5%必要と多額となり、その対策として運賃への転嫁が必要となるなど問題が多数あります。

しかしながら利用者の利便向

上と運航事業者側の業務の効率化を両立させる可能性もあるため検討を続けてまいります。

特に自動券売機のキャッシュレス化は現実的な検討をいたします。

【上村】航路間の運航時間が3分弱と短いため、船上でのバーコード決済やタッチ決済等するには時間がないと、また通信障害等が起こってしまうとお客様全員に迷惑がかかるということ。現在の徴収体制がベストであると理解します。

券売機のキャッシュレス化の導入を検討と同時に窓口での回数券購入の際にもキャッシュレス決済の導入をお願いします。

次に乗組員への負担軽減、安全確保の観点から提案をさせていただきます。ETCカードシステムが利用できないかと調べてみました。設備投資と維持費が高額となり難しいですが、現在ETCカードをそのまま利用できる「ETCX」という新しいサービスがあり、今はドライブ

スルーやガソリンスタンドで利用が始まっています。将来的にはカーフェリーにも利用できるシステムとなります。

一旦停止のみで決済が完了します。今後、生名船舶の安定した航路の維持に進めていくと同時に乗組員の負担軽減、安全確保、そして住民サービスの向上、利便性の充実の観点からキャッシュレス、スマート化の検討の継続をお願いします。



生名フェリー



宮畑 周平 議員

## 町の航路網に関する 長期ビジョンと維持 戦略について

【宮畑】本町の航路ネットワークの長期的ビジョンと維持戦略について伺います。本町では、航路は単なる移動手段ではなく、通勤・通学・通院・買い物を支える基幹的インフラです。ただ、人口減少や高齢化、費用の上昇、船員不足の中で、航路維持は年々困難さを増しています。このたび家老渡航路が廃業意向という極めて重大なニュースで、町民は大きな不安を抱えています。まず、航路ネットワーク

の将来像をどう描いているのかをお聞きします。また、将来の利用者推計や緊急時の財政出動、公営化や基金創設、事業者との定期協議など、総合的かつ実効的な航路維持戦略を提案したいと思います。

【町長】航路の長期ビジョンは、総合計画の中で対応しています。公共・民間事業者の状況や町民のニーズの把握に努めながら、関係機関で協議し、交通体系の維持・再編に努めます。まちづくりへの影響についても基本方針は変わりません。また、離島航路補助金の交付申請手続が航路事業者と定期的に協議できる場になっています。民間航路で

あり行政が深く立ち入れない部分がありますが、補助金により支援を継続します。しかし特定業者への暫定的な財政出動や公営化、基金創設は、目的や公平性の面で困難と考えています。

【宮畑】今回のように急な廃航路の話が出ると備えの必要性が浮き彫りになります。例えば銀行への公的資金注入のように、社会インフラを守る仕組みとして、航路に対しても「お金も出すが口も出す」形で関与していくような主体的な姿勢が求められているのでは。

【町長】今回の件は突然の話でこちらも混乱している状況です。補助制度は、愛媛県、上島町、広島県、尾道市の共同で赤字部分を上限1000万円で支援するもので複数航路を支援しています。それでも運営ができません。というのは、正直なかなか理解しづらい。新たに税金を投入するかどうかは、議会側も冷静に判断していただきたいと思えます。

【宮畑】まさにそこですが、いい補助金できたのに、航路事業者の要望と行政側の支援にミスマッチがあるのでないか。そこで補助金の仕組みを改良して実効性がより高いものにしていくお考えはありますか。

【町長】この補助金は昨年9月に実現したばかりで、すぐ中身を変えるのは難しいと思います。ミスマッチについては、協議が足りない部分もあると思いますので努力していきますが、私たちもこれまで一生懸命協議してきたということもご理解いただきたいと思えます。

【宮畑】一つの航路がなくなるのと、例えばサイクリングの周遊ルートなども片手落ちになってしまえば本心に惜しい。航路は一企業のもうけのためではなく、みんなの日常を運んでいるインフラです。住民の福祉、公共の福祉を守るのが行政の仕事です。地域住民みんな真剣に願っています。その思いに政治が応えていくようではありませんか。



尾藤 俊輔 議員

## 避難所運営における 多様な配慮と支援体 制の整備について

【尾藤】近年、災害の激甚化が進む中、避難所に関して「誰一人取り残さない」運営が求められています。

まず、ペット同行避難の基本方針や避難所内での分離・衛生管理、住民への周知についてお聞きします。あわせて、要支援者への対応として、多様な特性を持つ方々への対応をどのように想定し、計画策定や避難所開設時にどう反映しているのか、名簿整備や個別避難計画、関係

機関連携と併せて伺います。

【消防長】ペット同行避難については、受入計画に基づき福祉避難所以外の全避難所で受け入れられます。人と分離した屋外スペースを基本とし、必要に応じてテント等に対応します。

避難時は人命優先とし、ケージやリードの使用を求めます。周知は今後ホームページ等で行います。要支援者については、名簿と個別避難計画を整備し、関係部署で共有しています。避難所では福祉スペースを設置し、必要に応じ福祉避難所へ移送します。関係機関とは、消防団や警察、防災士、自主防災組織、民生児童委員、社会福祉

協議会などと連携します。

【尾藤】本町の受入方針について、ホームページや広報、防災訓練を活用した周知・啓発の強化を求めます。また、令和4年6月から犬猫へのマイクロチップ装着が義務化されており、災害時の身元確認にも有効であるため、その意義の周知もお願いいたします。

次に福祉避難所についてですが、現在候補として指定されている6か所の多くが海沿いに立地しており、南海トラフ地震等による津波で使用不能となる可能性も否定できません。代替施設の確保や運営方法、指揮命令系統についてお聞きします。

【消防長】指揮命令は災害対策本部が中心となり、福祉班と連携して対応します。既存の福祉避難所が使用できない場合は、他の避難所に福祉スペースを確保して対応します。

【尾藤】福祉避難所は指定にと

どまらず、最悪の事態を想定した実効性ある備えが重要で、民間施設の活用など柔軟な代替策も含めた検討を求めます。

また、防災DXを活用し、要支援者情報や避難所の受入状況、物資管理などを迅速に共有できる体制整備が必要です。こうした防災の姿勢そのものが町の価値につながり、信頼を生み、人が離れない、あるいは新たに住みたいと思われる町を作るものであると考えます。

命を守る備えは、町の未来を守る備えです。実効性ある体制整備を強く要望し、質問を終わります。



総合防災訓練の様子



濱田 高嘉 議員

## 小・中学校の統廃合 及び適正配置等につ いて

ですか。

【教育長】令和3年度から令和6年度に設置した学校の在り方検討委員会については、要綱に基づき実施しました。

【濱田】上島町小・中学校の統廃合等に関し、納得する質疑応答に至らず、再度質問します。担当課長は、上島町学校の在り方検討委員会要綱に基づき、学校の在り方・適正配置等について、適宜検討し違法性はないと答弁され、町長は、平成20年4月に上島町学校教育問題審議会条例に基づき生名中学校が弓削中学校に統合され、今回の統合もこの条例を適用した旨の答弁をされ、どちらが正しい答弁

町長の答弁については、議員から町長は条例に反している旨の発言を踏まえ、生名中学校、弓削中学校の統合も条例等のつとつて進められており、今回の統合の議論もそれに基づいて行っているとの内容を述べたもので、条例等、つまり例規にのつとつた手続の下で進めてきたことの説明です。

従って、町長と担当課長の説明に相違はなく、間違っていない答弁と認識しています。

【濱田】理事者側の認識を求めておらず、適用したのは要綱か、条例かを問うています。

【教育長】12月議会の答弁でも要綱と答弁しています。

【濱田】平成20年の生名中学校が弓削中学校との統合時も上島町学校教育問題審議会条例を適用した実態があり、今回の小学校3校と中学校を2校、計5校の統廃合もこの条例を基に再度審議会を開催して行うことにし、前回の町長答弁の条例適用を撤回されますね。

【町長】令和3年に、もつと的確に適正にやるため要綱を作成し、告示をして、この方法で粛々と検討した事実があり、条例違反ではありません。この要綱だと効果がない、条例じゃないとだめというのも、極論でございます。

【濱田】理事者側の答弁は屁理屈にしか聞こえず、筋道が通ら

ないような説明と受け止めていて、町民や議会を軽んじる町の対応は不信感を増幅するだけで解決に至りません。

また、退職した役場OBの方々もこの度の上島町の小・中学校の統廃合等に対応する町の姿勢に疑問を抱き、条例違反との発言を肯定されています。

できれば令和8年度中に条例に基づいた上島町学校教育問題審議会を立ち上げて、再度審議を行っていただきたいと願って質問を終わります。





本田 志摩 議員

## 総合教育会議の連携 協議内容と今後の展 望について

【本田】平成27年度より地方教育行政の組織と運営に関する法律の一部が改正され、民意を反映した自治体トップと教育行政を執行する教育委員会の連携が図られ、言い換えれば、首長を選出する町民が、選挙を通じ教育に間接的に関わることになった抜本改革でもありました。

大切な局面の今、総合教育会議を招集されてきた立場より考えをお示しく下さい。

【町長】教育行政は、将来の地

域の担い手を育む、最重要課題。

主な内容は教育大綱を主軸に、教育委員会から児童生徒の学力や体力の状況、教育環境、年毎の課題などが議題として提出され、皆様と意見を重ねてきています。

今後の展望も変わらず、出された議題について真摯に協議し、会議を招集する町長とし、教育委員会の取り組みを全力で支えて参ります。

【本田】町存続のための人口減少対策に、教育分野の果たす役割は非常に大きく、町長が可能性を秘めたこの分野に展望を持っていらっしゃるか。少し先

のストーリーが、現在の仕掛けにどう繋がっているのか。普段は言及を遠慮されている印象です。ので伺った次第です。

また、大人の幸福度に大きく関わる大切な分野。こと、ご高齢者の占める割合が大きい町。この方々が受け取る文化、スポーツ、生涯学習等々の中、特に地域コミュニティ活動、サロン活動、世代間交流も求められる。今後、注力されたい課題をお伺いします。

【町長】魚島の学校環境を整え、弓削高校への支援、離島留学への支援、弓削商船への協力と協議支援をやっています。日頃から教育は、即効性はないけれど町にとって一番重要施策とお伝えしているつもりです。平素の施策から私の教育に対するスタンスはご理解いただきたいと思っています。

【本田】教育分野が全世代にとつて恩恵のあるものであってほしいですが、現行の学校クラス運

営に不満を持つ保護者が多くいらっしゃるのを在り方検討委員会でも、骨子案の説明会でも見聞きしました。また、(学校統合について)地域の合意形成に課題が多く残されており、どちらも取り残すことのできない課題。今後も注力をお願いします。自治体存続に繋がる展開を願いますが、どんな魅力化に繋がっていくとお考えか伺います。

【町長】結論はともかく、教育委員会に信頼を寄せてお任せするのが一番良いと思っています。さまざまな意見がありますが、一番情報が集まっている所が十分に精査して対応し、総合教育会議のように町長に報告をいただくのが一番よろしいかと思えます。

【本田】是非、今後自治体の存続に繋がっていく、人口が増えていく、そういう図式に向かって話が進んでいくように強く願っております。



濱田 和保 議員

## 先田名後最終処分場の今後について

【濱田】町民の多くは報道で町長以下幹部が頭を下げている姿を見て、上島町で廃棄物処理法違反があった事を初めて知ったと思います。しかし、問題の本質である上島町の今後にどのような影響を及ぼすのかをそこまで心配している人は少ないと思います。この事案が今後の上島町の財政に及ぼす影響と町民が受けるであろう不利益を現時点で解る範囲で教えてください。

【健康福祉部長】今回の事案の是正措置に伴う財政への影響に

ついて必要な期間を約12年間と見込んでおり、財政支出の平準化を図ります。さらに、適正な事業執行やコスト削減の最大化を図り、行政サービスが低下しないように努めます。

【濱田】ごみ処理場の許容量超過、不法投棄の場合の廃棄物処理法違反に対する罰則は個人の場合5年以下の懲役、1千万円以下の罰金、法人の場合3億円以下の罰金となっておりますが、今回の場合もこれらが適用されるのでしょうか。

【町長】廃棄物処理法違反に誰が該当するか今の時点では明確に分かっていません。誰に責があるか、しっかりと第三者委員

会の方で対応して参りたい。今回の問題解決の処分費は一般財源で処分していく方向です。

【濱田】上島町は今すぐに夕張のようになることはないにしても県下で一番近い所にある行政であると思われます。この問題が起きなくても弓削潮湯の廃止や生名フェリーの75歳以上の通院補助を廃止したりと福祉に寄与する予算を削減しています。そんな中、何億円にも及ぶこの処理費はこれからの我が町の財政に重くのしかかると考えます。その時になって初めて気づき慌てないように町民に対して、必要ならば、謝罪もし、又、今現在想定しているであろうさまざまの影響を言える範囲で良いので丁寧な説明が必要だと思いたすがいかがでしょうか。

【町長】廃棄物処理法については私は一般の方よりも勉強しており資格も持っています。行政側が責任を取らないという事ではなく、今問題になっている許容量オーバーの違反については

行政側もしっかりと調査を受けて、その結果何らかの処分が出るという流れはご案内の通りです。又、財政が健全だと言っているのは決して矮小化しているのではなく、国の定める4つの指標の数値内であるという事で、普段から上島町の財政状況は厳しい事はお伝えしております。

## 家老渡フェリーの今後について

【濱田】同僚議員と同じ質問なので意見だけを述べます。家老渡フェリーの廃止問題は上弓削久司浦地区、又利用者だけの問題ではありません。廃止されれば300台近くの車両が生名フェリーにやってきて大変な混雑が予想され多くの利用者にも影響を与えます。上島町民の公共の足を担う大切な航路を存続させる為に町には力強い対応をお願いします。

## 令和8年第1回

# 予算決算委員会

日時：令和8年3月9日

場所：弓削総合庁舎3階議場

出席議員：12名（全員出席）

### ■魚島船舶事業会計

【濱田高嘉委員】説明いただいた5億5千万円の契約金額は町の持分に対する金額ですか。

【魚島支所長】5億5千万円は建造工事費の総額です。町の持分は3億3875万9千円です。

### ■生名船舶事業会計

【濱田和保委員】令和9年度から10%の値上げが計画されています。同様の運営を続けていけば今後も値上げが続くと思われるですが、経営努力はどのようにされていますか。

【公営事業課長】ドック費用について、必要でない立会を減らし、職員で対応できる部分は自ら行うことで経費削減に努めています。燃料費の高騰はありますが、可能な限り経費縮減に取り組んでいます。

【濱田和保委員】経費は上昇傾向にあり、努力を継続していただきたい。委託業務について、前年より約100万円増えています。その内訳は何ですか。

【公営事業課長】人件費の上昇によるものです。

### ■下水道事業会計

【尾藤委員】経営戦略及び使用料改定業務について、内容と委託先を教えてください。

【公営事業課長】委託先は地域科学研究所です。業務内容は、下水道料金審議会における資料作成や運営支援です。

【濱田和保委員】下水道処理場費について、これは外部委託の費用ですか。

【公営事業課長】公共下水道および農業集落排水の各処理場の維持管理費を含んでいます。

【濱田和保委員】前年度実績より約1000万円増えています。その原因は何ですか。

【公営事業課長】予算と決算の違いによるものです。入札減少により決算額は下がったため、予算との比較で差が出ています。

【濱田和保委員】厳しい財政状況の中で1000万円増というのは重い。競争性のある入札を

行い、少しでも安くなるよう努力していただきたい。

【公営事業課長】設計は適正に行っており、競争入札により減額も発生していますので、執行は適正と考えています。

### ■一般会計 歳入

【宮畑委員】地方交付税が前年比約1億8千万円増えています。今後の見通しは。

【総務課長補佐】国の地方財政対策により増額となっています。今後も国の方針に左右されますが、必要な行政サービスが維持できる水準は確保されると考えています。

### ■弓削商船高専支援事業補助金

【濱田高嘉委員】弓削商船に200万円の支援補助が計上されていますが、昨年、一昨年はなかった項目です。支援内容は。

【総務課長補佐】弓削商船から、ふるさと納税の使途として支援を追加してほしいという相談があり、来年度新たに創設した事

業です。寄附のうち半分を補助金として高専へ交付し、学生の地域課題解決活動などに活用していただく予定です。

■かみじま音楽祭補助金

【宮畑委員】かみじま音楽祭補助金について、財政が厳しい中でイベント事業は見直しが必要と考えます。全体で1500万円規模の事業と認識しています。が、今後の継続についての見解を伺います。

【企画情報課長】音楽祭はこれまで2年に1回実施しており、来年度で8回目です。町民への音楽提供や交流促進という目的で一定の効果はあったと認識しています。今年度の補助金は学生・一般ステージの運営費です。今後は事務事業の見直しを行い、4年に1回程度の開催とする方向で検討しています。

■魚島、高井神島、豊島住民旅客運賃補助金

【濱田高嘉委員】住民運賃補助

について、島民が支払った運賃約480万円に対し、約6割を払い戻している状況です。一方で赤字補填として町単独でも多額の補助を出しています。他航路では高齢者無料なども廃止される中で、魚島住民のみ優遇されているのは公平性に欠けるのではないですか。

【魚島支所長】当該航路は唯一の生活航路であり、国道・県道的な位置付けです。住民負担軽減の観点から実施しており、現時点で廃止の予定はありません。【濱田高嘉委員】町民全体で公平に割引されるなら理解できませんが、魚島住民のみ6割補助は不公平です。公平性の観点から見直しを求めます。

■町有バス車両更新事業

【尾藤委員】町有バス更新事業3600万円について、デマンド交通拡充の中での位置付けと今後の見直しを教えてください。【公営事業課長】通学、通勤時間帯は大量輸送が必要なため、

バスは引き続き必要です。デマンド交通は日中時間帯の補完です。老朽車両5台を将来的に3台へ減らし、維持管理費削減も図ります。

■塵芥収集運搬処理業務

【濱田和保委員】弓削地区の委託費が約1300万円増加していますが理由は。

【住民課長】前年度は施設改修により焼却停止しており減額計上していました。今年度は通常運転に戻するため増額しています。

【濱田和保委員】過去には競争入札で半額程度まで下がった実績もあり、現在の設計額は高すぎるのでは。

【住民課長】適正に積み上げた予算です。

■水産環境整備

【藤田委員】現在は漁礁設置が中心ですが、海底の酸素不足や栄養不足対策として有効とされるマリンストーンという人工石があります。令和9年度までの

計画には異論はありませんが、それ以降はこうした新たな資材の導入も検討すべきでは。

【農林水産課長】マリンストーンは水質改善や藻場再生に効果があり、ブルーカーボンにも寄与することは認識しています。現在、愛媛県漁協弓削支所が単独事業として設置予定であり、本町も許可申請等で協力しています。今後の事業化については効果検証やデータの蓄積が必要であり、県や漁協と連携しながら検討していきます。

■国際交流の推進

【宮畑委員】国際交流について、これまで少しずつ進めるとの答弁がありました。が、次年度に向けた具体的な進展はありますか。

【観光戦略課長】関係課や議員とも意見交換を行い、既存事業の中で国際交流に結び付けられる取組みを進めていく方向としました。また、第3次総合計画にも位置付けを行い、人と人との関係づくりの施策として整理

しています。

■上島町新規チャレンジ応援事業補助金

【徳岡委員】新規チャレンジ補助金について、採択件数と継続状況はどうなっていますか。

【観光戦略課長】令和6年度は新規創業1件、事業拡大1件。令和7年度は新規1件、拡大3件を採択し、現在も継続しています。新規は5年、拡大は3年の継続が条件です。

【尾藤委員】企業誘致の観点から、今回の補助制度はどのように位置付けられますか。

【観光戦略課長】大規模企業誘致は難しいため、新規チャレンジ補助金により、町外からの参入や事業展開を支援しています。

■上島町観光協会育成補助金

【宮畑委員】観光協会は町の委託事業の受け皿となっている一方で、事業者をまとめ政策提言できる組織へ成長する必要がありますか。

ると考えます。

【観光戦略課長】観光協会では現在、事業者との意見交換を通じて今後の観光施策を検討しています。今後は協会自らの提案を事業化し、町の観光推進の中核となるよう成長を期待しています。

■留学生帰省費補助金（弓削高校）、魚島離島留学帰省費補助金

【藤田委員】子どもへの帰省補助については半額国の補助制度がある中で、保護者等の町独自補助は必要ないのでは。令和9年度以降の見直しの考えは。

【生涯学習課長】本制度は学校存続のための重要な施策であり、国の離島活性化交付金の対象にもなっています。これを廃止すると他の補助制度への影響も懸念されるため継続が必要と考えています。一方で、財政状況を踏まえ制度の見直しは検討していきます。

【学校教育課長】魚島離島留学

帰省費補助金と合わせた形での検討を進めてまいります。

■特別支援教育・不登校支援員体制

【徳岡委員】特別支援教育支援員、不登校支援員の体制は何名ですか。

【学校教育課長】特別支援教育支援員は全校で12名、サポートルーム支援員は2名です。各校から要望はありますが、財政や費用対効果も踏まえ現在の体制で対応しています。今後も必要性を見極めながら確保していきます。

■部活動移行に向けた実証事業

【徳岡委員】部活動地域移行の実証事業の内容は。

【学校教育課長】国は令和10年度までに休日の地域移行を進める方針です。本町では令和5年度から検討、令和6年度に一部実施、令和7年度は卓球で実施済み。今後ソフトテニスなども検討しています。

■地域スポーツ支援

【上村委員】地域クラブであるイワキテック野球部の支援について、応援ツアーなど町ぐるみの支援を検討してほしい。

■弓削体育館防水補修工事

【徳岡委員】弓削体育館の防水工事は雨漏り対策ですか。

【生涯学習課長】そのとおりです。【徳岡委員】子ども議会の提案が実現した点を評価します。

■島の神遊園トイレ補修工事

【本田委員】島の神遊園トイレは損傷が激しいですが、今回の工事内容は。

【住民課長】塗装の全面やり替え、コンクリート破損部の防水補修、雨どい修繕が主です。便器の交換は行いません。

以上の討議を行い、全ての当初予算について予算決算委員会として可決しました。

（徳永貴久）

# 定例会議案審議

日時：令和8年3月12日  
 場所：弓削総合庁舎3階議場  
 出席議員：11名（欠席1名）

## ■上島町スポーツ合宿村公園条例の一部を改正する条例

上島町スポーツ合宿村公園の利用料金見直しに伴い、関係規定を整備するための改正案。物価高騰の影響で、営業収入は増加しているものの営業利益が減少していることから、蛙石荘の宿泊料金を見直し、経営の安定化を図ることが趣旨。

## ■「令和7年度上島町一般会計補正予算（第6号）」から「令和7年度上島町下水道事業会計補正予算（第2号）」まで（8件）

今回の補正は、入札減少金による補正や事業の実績に伴う減額が主な理由であるため、予算決算委員会への付託は行わず、本会議にて審議・採決を行いました。補正額と補正後累計額は表の通り。

	補正額	補正後累計額
一般会計	△2億5,100万円	75億2,500万円
特別会計	△1億4,300万円	30億3,760万円
企業会計	△2,180万円	9億3,794万3千円

**議案審議**

■上島町海水温浴施設条例を廃止する条例  
 令和8年3月31日をもって潮湯の営業を停止し、利用料等の徴収をする必要がないことから、条例案が提出。

**反対討論**

【本田議員】公共施設を利用する権利と福祉増進という設置目的の観点から、潮湯の営業停止に至るまでに十分な改善努力が尽くされたのか疑義が残ります。

## ■工事請負契約の締結について

魚島船舶新船建造工事について請負契約に付するため、地方自治法第96条第1項第5号並びに上島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により提案するもの。令和9年9月竣工を目指す。

○契約の目的…魚島船舶新船建造工事

○契約の方法…随意契約

○契約金額…5億5千万円

○契約相手…ツネイシクラフト & ファシリテーターズ株式会社

## ■上島町体験研修施設「知新館」の指定管理者の指定について

新たに上島町体験研修施設「知新館」の指定管理者の指定を行うため、地方自治法第244条の2第6項及び、上島町公の施設における指定管理者の指定の手続き等に関する条例第4条の規定により、議会の議決を求めるもの。

○施設の名称及び所在地…上島

町体験研修施設「知新館」

○指定管理者…岩城島農村塾

○指定期間…令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

## 意見書審議

■刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について

袴田事件や福井女子中学生殺害事件において再審無罪判決が確定したことを踏まえ、冤罪被害者の速やかな救済に向けて、刑事訴訟法の再審規定の見直しを行うよう国に求める旨の意見書が提出。

## 請願審議

■上島町小中学校統廃合に関する請願

小中学校統廃合の議論に関する会議について、条例をもとにやり直しを求めるもの。紹介議員…濱田高嘉、濱田和保、本田志摩

**反対討論**

【徳永】 上島町学校の在り方検討委員会は地域を思う委員による熟議を積み重ね、その過程は尊重されるべき。新たな審議会の設置ではなく、今後予定されている住民説明会を通じて対話を重ね、子どもたちのより良い教育環境づくりに充てることが重要。これらを踏まえ、本請願は不採択が妥当と考えます。

**■上島町小中学校統廃合（魚島小・中学校）に関する請願**

上島町学校適正配置基本計画で魚島小・中学校の存続が記載されていることについて、上島町学校の在り方検討委員会で十分な議論が行われていないにもかかわらず提言書に反映されているのは問題であるとして、基本計画への当該記載を行わないよう求めるもの。紹介議員…濱田高嘉

**主な質疑**

【藤田】 魚島地区では、今後地元の子どもがいなくなる見込み

である中、離島留学も含めた対応について、教育委員会傘下で別途検討委員会が設置されているとの認識です。

【濱田高嘉】 問題は、在り方検討委員会の6回の会合の中でこの点が議論されていないという事実。議事録を見ても議論の確認はできず、この点を主眼に判断していただきたい。なお離島留学の是非については、今後議会で引き続き協議していくべき課題です。

**■家老渡く上弓削航路の維持継続に関する措置を求める請願**

当該航路は通勤・通学・通院をはじめ、物流や観光など地域を支える重要な交通基盤であり、その廃止は住民生活や地域経済に大きな影響を及ぼすおそれがあるとして、国や県と連携の上、航路の安定的な維持存続に向けた財政的・制度的措置を講じるよう求めるもの。紹介議員…藤田徹也、宮畑周平、尾藤俊輔

(尾藤俊輔)

# 3月議会 議案審議結果

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 地方自治法第117条による退場者：—

議案名	議員名										審議結果		
	尾藤俊輔	宮畑周平	本田志摩	徳岡誠	上村建太	濱田和保	徳永貴久	藤田徹也	亀井文男	濱田高嘉		藏谷重文	前田省二
議案第6号 上島町海水温浴施設条例を廃止する条例	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	議長	賛成8人 原案可決
議案第7号 上島町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第8号 上島町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第9号 上島町スポーツ合宿村公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第10号 上島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第11号 上島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第12号 上島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第13号 上島町火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第14号 令和7年度上島町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決

議案第15号	令和7年度上島町国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	全会一致 原案可決
議案第16号	令和7年度上島町後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第17号	令和7年度上島町介護保険事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第18号	令和7年度上島町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第19号	令和7年度上島町生名船舶事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第20号	令和7年度上島町上水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第21号	令和7年度上島町下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第22号	令和8年度上島町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○		賛成9人 原案可決
議案第23号	令和8年度上島町国民健康保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第24号	令和8年度上島町国民健康保険診療所事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第25号	令和8年度上島町へき地出張診療所事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第26号	令和8年度上島町後期高齢者医療事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第27号	令和8年度上島町CATV事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第28号	令和8年度上島町介護保険事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第29号	令和8年度上島町介護サービス事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第30号	令和8年度上島町魚島船舶事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○		賛成9人 原案可決
議案第31号	令和8年度上島町特別養護老人ホーム事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第32号	令和8年度上島町生名船舶事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第33号	令和8年度上島町上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第34号	令和8年度上島町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第35号	令和8年度上島町簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		全会一致 原案可決
議案第36号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		賛成10人 原案可決
議案第37号	辺地に係る総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第38号	上島町過疎地域持続的発展計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
議案第39号	上島町体験研修施設「知新館」の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
意見書第1号	刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		全会一致 原案可決
請願第1号	上島町小中学校統廃合に関する請願	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×		賛成3人 不採択
請願第2号	上島町小中学校統廃合(魚島小・中学校)に関する請願	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	賛成3人 不採択	
請願第3号	家老渡～上弓削航路の維持存続に関する措置を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全会一致 採択	

## ありがとう『潮湯』

昨年度末、惜しまれながら幕を閉じた海水温浴施設『潮湯』。三月過日、多数のご愛用者さんにより、ありがたいの気持ちを含めた手作りセレモニーが催されました。施設スタッフの方々はもちろん、歩行講座の講師の方々共々、掛け替えのない憩いの場に感謝を伝え合いました。

この日の歩行講座では、慣れた様子で和気あいあいとメニューをこなす皆さん。海を望む大きなガラス面には『ありがとう潮湯』の手作りの大きな文字。受付には、バラのお花が添えられており、講座終わりには講師の方々に花束が贈られ、自然と大きな拍手でプール全体が包まれました。

春からは、新たな癒しの時間を各々工夫されてお過ごしのことと思います。心身ともに健康を維持することは、どなたにとっても人生の大きなテーマです。この場所で繋がった人の輪が、この先も温かく広がっていくよう願ったひと時でした。

(本田志摩)



### ○議会へのご連絡先

〒794-2592

愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210

上島町議会事務局「議会広報委員会」

E-mail : gikai@town.kamijima.ehime.jp

### 令和8年6月議会の日程

— 6月 —

10日(水) 議会運営委員会

11日(木) 全員協議会

17日(水) 定例会

19日(金) 予算決算委員会

24日(水) 定例会(再開)

### 編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。議会では、町民生活に直結する条例改正や各種施策について、慎重かつ活発な審議を行う中で、子育て支援の充実、防災・減災対策の強化、高齢化や人口減少を見据えた地域づくりは、議会に課せられた重要な役割であると改めて感じております。

議会は、町民の皆様の声を町政に反映させるための場であり、開かれた議論を通じて信頼される存在であり続けなければなりません。

今後、一つひとつの議案に真摯に向き合い、上島町の持続的な発展と安心して暮らせる地域づくりに向けて、責任ある議論と決断を重ねてまいります。

本議会だよりが、町政を身近に感じていただく一助となれば幸いです。

前田省二

### ○議会広報委員会

委員長 藤田徹也

副委員長 宮畑周平

委員 前田省二 徳永貴久

本田志摩 尾藤俊輔